

南高図書館だより

2024年9月号
浦和南高校図書館

図書委員のおすすめ本



『変な家』

雨穴／著 飛鳥新社

引っ越し予定の友人に何気なく見せてもらった一つの家の間取り。なんとなく違和感を感じて知り合いの設計士 栗原さんに相談してみると、“一つも窓がない部屋”や“1階と2階に通じている謎の空間”など、さまざまな謎があった。なぜこんな家を作ったのか。不気味な間取りの奇妙な謎に迫っていくミステリーホラーです。

『流浪の月』

凧良ゆう／著 東京創元社

この本の登場人物は誘拐犯と被害女兒。何も知らない第三者が見れば可哀想と感ずるかもしれない。でも被害女兒にとって誘拐犯は心の拠り所となる唯一の場所だった。真実と事実は違う事に気づかされる物語です。映画化もされているので是非見てみてください！



『交換ウソ日記』

櫻いいよ／著 スターツ出版(スタート出版文庫)

昨年公開された映画、「交換ウソ日記」の原作です。好きだと書かれたラブレターをみつける高2の希美と、送り主の瀬戸山くんの、ひみつの交換日記が始まる。ウソをつきながら交換日記を続けることで事態は急変していく!!!最後の感動の涙が止まらない結末に注目してください。

図書館からのお知らせ

◆さいたま市立高校・中等教育学校・さいたま市図書館コラボ企画◆

第6回市立高校POPバトル開催中

市立高校3校と中等教育学校1校の生徒が選んだおすすめの本12冊を、高校生のオリジナルPOPとともに展示しています。
もっとも本を読みたいと感じさせたPOPはどれか？
ぜひ投票して、応援してください！



展示期間 令和6年9月1日(日)～9月30日(月)まで

展示場所 図書館内、2階中央廊下

投票方法 展示場所に設置された台紙にシールを貼って投票できます
また、さいたま市図書館ウェブサイト※上からも投票できます
※ <https://www.lib.city.saitama.jp/contents?4&pid=8241>

第3弾

あなたも挑戦！「図書館たほいや」クイズ ～次のお題の正解は？～

お題【ししらしん】 出典：『日本語オノマトペ辞典』(小野正弘／編 小学館)

- 1, 暗闇を見つめていると、だんだん目が慣れてきて見えるようになるさま。
- 2, ものがこすれ合ってたてる金属的な音。
- 3, 知らん顔をして平然とすましこんでいるさま。

正解以外は素人が考えた嘘の答えです。どれが正解かわかりますか？

正解は次頁にあります➡



「図書館たほいや」キットあります。やってみたい人は4人以上のメンバーを集めて、図書館へ来てください。1回遊ぶのに、20分以上かかります。慣れていない場合は、昼休みより放課後のほうがゆっくり遊べてオススメです。



知識の本

ネットはなぜいつも揉めているのか

津田正太郎／著 筑摩書房(ちくまプリマー新書)

日々起きる事件や出来事、問題発言をめぐる、ネットユーザーは毎日のように言い争っている。SNS上で「炎上」を経験したメディア社会論者が、自身の経験だけでなく、ソーシャルメディアの特性やそれを取り巻く政治や社会について取り上げながら、終わりのない諍いを生み出す社会やメディアのあり方を考える。

19歳までに手に入れる7つの武器

樺沢紫苑／著 幻冬舎

人生の成功法則は、「整え、つながり、行動する」の3ステップ。RPG風に言い換えると、「装備を整え、仲間を集め、冒険に出る!」。人生はRPGのようなものだが、多くの十代は、装備も仲間も情報もなしでダンジョンと化した学校で生活を送っている。これではうまくいくはずがない。著者が授ける「生き方の正解」を導くのに不可欠な19歳までに手に入れる「7つの武器」とは。

日本の化粧の変遷100年

資生堂ビューティークリエイションセンター／監修 玄光社

メイクは各時代の世の中の雰囲気、価値観を凝縮させたもの。大正時代の1920年から2010年までの100年の、大正ロマン溢れるモダンガールから令和ギャル系まで、それぞれの時代を象徴するメイクとその再現方法を紹介する本。全てのメイクが一人の女性で行われているが、眉や色で雰囲気が変わり、まるで別人のようになる。

ペンローズの幾何学 対称性から黄金比、アインシュタイン・タイルまで

谷岡一郎、荒木義明／著 講談社(ブルーバックス)

数学の世界には、「平面を隙間も重なりもなく敷き詰める図形」を探究する「平面充填」という分野が存在する。正方形や正三角形ではない形状の図形の組み合わせは、1964年の最初の発見時は2万超の図形によって平面が敷き詰められていたが、1974年にペンローズによって2種類の図形で可能なことが見いだされた(ペンローズ・タイル)。そして、2023年、ついに1種類で平面充填を可能とする図形(アインシュタイン・タイル)が発見される。このタイルの形状とは?

楽しいヒエログリフ入門

クリスチャン・ジャック／著 鳥取絹子／訳 草思社

文法など堅苦しいことは最低限に、楽しくヒエログリフを身に付けられる本。はじめに紹介されるヒエログリフは「アヒル」。その意味はアヒルだけではない。第一部はヒエログリフ解読の大功労者シャンポリオンの偉業を臨場感たっぷりに描き、第二部では様々なヒエログリフが紹介され、古代エジプト人の生活や世界観を盛り込みながら、それぞれ詳しく解説する。練習問題も収録しています。

君はどう生きるか

鴻上尚史／著 講談社

筆者が出会った中学生・高校生の悩みに向き合った経験から、十代の人たちがぶつかる問題に対するアドバイスをまとめた本。コミュニケーションの上達方法や自信の持ち方、本当の友だちやルッキズムに対する考え方など、自分の幸せを自分自身で探すための方法について。

小説・文学

女の子たち風船爆弾をつくる

小林エリカ／著 文藝春秋

昭和10年に小学校へ入学した「わたし」たちは、昭和19年の女学生のとき、東京宝塚劇場で風船爆弾を製造するために集められる。意図せずに戦争の当事者とされた少女たちの、令和までの物語。多くの証言から紡がれたこの物語は、個人の名前で語られない。淡々と当時の歴史的事実を並べ、名前のない「わたし」たちの感情や行動を同時に記すことで、確かにそこにいた女の子たちの想いに読者を寄り添わせ、当時の歴史が今とつながっている現実であると感じさせる。

猫と罰

宇津木健太郎／著 新潮社

猫は九回生けるといふ。転生を繰り返して九回目を生きる黒猫(クロ)は、過去の人間の身勝手からくる辛い仕打ちから人間嫌いとなり、三回目のときに初めて心を通わせた飼い主の文豪との記憶のみを大切にしながら孤独に暮らしていた。ある日、猫と会話できる店主「魔女」が営む古書店「北斗堂」と出会い、そこに集まる猫たちや客である人間と関わるようになる。

6days遭難者たち

安田夏菜／著 講談社

天気図が苦手な登山部を辞めた美玖だが、ある理由から友達2人を誘い日帰り登山へ向かう。「ゆる登山」のつもりが、下山の計画を変更したことで道を見失い…。電波は途絶え、食料も底をつき、絶望する3人が生と死の狭間でつかんだものは。「遭難を防ぐための五か条」も掲載。



夏休み中に、図書館の本の並べ替えをしました

主に、4類「自然科学」～9類「文学」の並ぶ場所が変わりました。新たに、「文庫」コーナーの近くの棚へ外国語で書かれた本を集めました。

古い本を棚から除いて並び替えたので、以前よりも探しやすくなっているとします。

変更後の図書館マップが、図書館入口と蔵書検索用PCの近くにあります。本を探すときの参考にしてください。

見つけられないときは遠慮なく、司書に聞いてくださいね。

